

## 平成 28 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	筑波大学大学院人間総合科学研究 科生涯発達科学専攻 (博士課程)	職名	臨床心理士	助成金額	200,000 円
氏名	上倉 安代	メール アドレス	s1545105@u.tsukuba.ac.jp		
研究課題 (申請書に記入した内容を記入すること。)					
統合失調症者に対する短期的心理療法の効果の検討 : ボディサイコセラピー(動作療法)を用いて					
助成金使用実績の概要 (日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。)					
<p>1. 問題と目的</p> <p>統合失調症は、回復困難な精神疾患であり、長期の入院を余儀なくされる人も多い。特に、意欲の低下や自閉を呈する陰性症状は、社会復帰を阻む精神症状であり、薬物療法や認知行動療法等でも改善が困難とされる (アメリカ精神医学会, 2004)。よって、陰性症状改善に有効な短期の心理的アプローチが必要である。</p> <p>本研究では、統合失調症者に対して臨床的有効性が認められる動作療法 (※「動作の仕方を変えることを通して、それと一体的なところの治療的变化を目指す (成瀬, 2014)」日本発祥の心理療法) のメカニズムと効果の検討を目的とした。研究 1 では、統合失調症者に動作療法を実施し、その体験についてインタビュー調査を行い統合失調症者に対する動作療法のメカニズムを検討した。研究 2 では、動作療法を行い統合失調症者の自己主体感と自己所有感の向上を図り、自我障害改善と陰性症状軽減効果に関する量的研究を行い、その効果とメカニズムを検証した。</p> <p>2. 助成金の使途</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> IC レコーダー 2 台-18,390 円</li> <li><input type="checkbox"/> メモリーカード(IC レコーダー用)-9,475 円</li> <li><input type="checkbox"/> ハードディスク 2 台-23,466 円</li> <li><input type="checkbox"/> USB メモリー-2,972 円</li> <li><input type="checkbox"/> ビデオ機材(集団療法記録用): ビデオカメラ/バッテリー/三脚/メモリーカード(ビデオ用)-計 59,880 円</li> <li><input type="checkbox"/> 通信費(事後評価用紙の送付・返送)-6,512 円</li> <li><input type="checkbox"/> 交通費(自宅~研究協力機関)-50,000 円</li> <li><input type="checkbox"/> 研究協力者への謝金: 30,000 円</li> </ul> <p>3. 研究成果</p> <p>本研究の成果としては、研究 1 では、集団式動作療法 (週 1 回 40 分, 全 5 回) の実施により、統合失調症者においては【意図・努力・身体運動の達成過程】と【伴う体験】、【グループ体験】を経て、【心地よい身体像】と【主体的な自分】、【伴う体験の増長】の獲得、ひいては【自我障害の改善】とそれによる【精神症状の軽減】、【日常生活の改善】、【病気の影響を受けていない自分】の再獲得がなされるというメカニズムがうかがわれた。</p> <p>研究 2 では、長期入院中の陰性症状主体の統合失調症者において、集団式動作療法 (週 1 回 40 分, 全 5 回) の実施により統制群と比較して動作療法実施群では、「主体的感覚」と「身体的所有感」の向上がみられたことから、動作療法による自己主体感と自己所有感の改善効果が支持された。また、「身体的安定感」および「リラックス感」の向上傾向もみられ、統合失調症者に対する動作療法の短期間での介入効果が示された。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表 (インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。)					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
上倉安代	統合失調症者に対する動作療法の作用機序仮説の検討 -修正版グラウンデッドセオリーを用いて-	日本臨床動作学会 福岡大会第 25 回学術大会	2017 年 10 月		